

令和6年度 第2回焼津市地域包括支援センター運営協議会・  
第2回焼津市地域密着型サービス運営委員会 議事録

【留意事項】

- 1 本議事録は、会議要旨の概要報告用として作成しており、委員各位の意見及びそれに対する事務局の説明については、省略している箇所がある。また、事務局の議案説明は省略している。

<以下本文>

- 1 日 時 令和7年2月6日（木）午前10時00分～11時15分
- 2 場 所 焼津地域交流センター 大集会室
- 3 出席者 (委 員)  
渡邊英勝会長、栗原武志委員、鈴木智企委員、中田満寿夫委員、塩澤廣治委員、  
板本有美子委員、橋本賀代委員、池谷孝由委員  
(事務局)  
杉山広晃地域包括ケア推進課長、松田智仁地域包括ケア推進担当係長、  
萩正和地域包括ケア担当主査、杉山拓麻地域包括ケア担当主事、  
田中進事業者指導担当係長、川中裕太事業者指導担当主任主事、  
飯塚隆晴介護保険課長  
(地域包括支援センター)  
北 部：三藤センター長、法月管理者  
中 部：赤星事務長（センター長代理）、高鳥管理者  
南 部：矢部センター長、望月管理者  
大井川：鈴木センター長、五十右管理者
- 4 欠席者 (委 員) 小平誠委員、吉田奈央委員、大石濃委員、遠藤耕輔委員
- 5 次 第  
(地域包括支援センター運営協議会)
  - (1) 開 会
  - (2) 会長挨拶
  - (3) 議事
    - ① 報告事項  
ア 令和6年度地域ケア推進会議について  
イ 介護予防ケアマネジメント業務委託事業所について  
ウ 令和6年度地域包括支援センター事業評価について  
エ 令和7年度における地域包括支援センターの職員配置について
    - ② 協議事項  
ア 令和7年度地域包括支援センター運営方針（案）について  
イ 令和7年度地域包括支援センター事業計画（案）及び予算（案）について  
ウ 地域包括支援センターの兼業禁止事項について
  - (4) その他
  - (5) 閉 会

## 〈地域密着型サービス運営委員会〉

## (1) 開会

## (2) 報告事項

- ①市内の地域密着型サービス事業所の状況
- ②地域密着型サービス事業所の指定更新等の状況
- ③地域密着型サービス事業所の運営指導の結果

## (3) その他

## (4) 閉会

## 〔議事録〕

事務局           ただ今より、令和6年度第2回焼津市地域包括支援センター運営協議会を開会します。

はじめに、渡邊会長よりご挨拶いただきます。

会長           (挨拶)

事務局           ありがとうございました。

それでは議事に入ります。まず、会議の成立要件について説明します。

会議の成立要件として地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条により「委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。」と規定されております。本日の出席者ですが、委員総数12人の内、8人が出席し過半数を超えており、会議は成立していることをご報告させていただきます。

議事の進行につきましては、同要綱第4条により、渡邊会長にお願いしたいと思います。渡邊会長、よろしく申し上げます。

会長           今回は報告事項が4件、協議事項が3件です。報告事項ア「令和6年度地域ケア推進会議について」からエ「令和7年度における地域包括支援センターの職員配置について」まで、事務局から一括で説明をお願いします。

事務局           (説明)

会長           ただ今の説明に対し、ご質問などございませんか。

池谷委員       3点教えてください。1点目、中部包括での地域ケア圏域会議の記載がないので、その後の開催状況はどうか。2点目、包括の周知について、設置から20年経つが、まだ周知されていないのか。3点目、包括の増員配置について、どの専門職を配置するなど計画しているか。これらについて教えてください。

事務局           1点目ですが、中部包括は1月31日に地域ケア圏域会議を開催し、地域での住民主体の介護予防活動の展開について検討しました。

2点目ですが、高齢者への周知は進んでいるものの、中年層や勤労世代に認識されていないことが浮き彫りになったため、それらの年代への周知を課題として挙げ、ホームページの充実やInstagramでの発信を行うこととしています。

3点目ですが、包括の増員予定の専門職について、保健師や主任ケアマネジャーの充足が必要と考えていますが、最近是人材不足という中で応募がな

いという状況もございますので、地域包括支援センターと相談しながら配置検討していきます。

栗原委員 地域の薬剤師から、地域ケア会議への出席の要望が挙がっていますが、薬剤師の参加状況について教えてください。また、今後包括から薬剤師への参加依頼があるのか教えていただきたいです。

事務局 以前は自立支援型地域ケア会議を定例的に開催しており、そこに薬剤師にも参加していただいていた。しかし、より効果的に会議を開催するため、一度休止をし、検討する中で、今年度体系を整理して再開しました。自立支援型地域ケア会議については、サービスC卒業等を対象として会議を再開した中で、現状薬剤師の出席はありませんが、皆様からの声があることは承知していますので、今後包括から事例に応じて協力をお願いしていければと思います。

栗原委員 地域には薬局が多く、包括のチラシの配架等協力できることもあると思いますので、お声掛けいただければと思います。

鈴木委員 包括の専門職の配置の充足率について、県内の状況と比べていかがでしょうか。

事務局 県内の状況を抽出して把握していませんが、全国的な指標において、本市は充足率が下位にあります。本市は平地が多く、中山間地域がないという地理的要因もあるかと思います。移動にも時間を要さないため、現状の配置人数でも運営してこられた面もありますが、1,500人を目安に配置をしていく必要があろうということで、今回増員配置を検討しています。

会長 他に質問がなければ、協議事項に移ります。

協議事項ア「令和7年度地域包括支援センター運営方針案について」、イ「令和7年度地域包括支援センター事業計画案及び予算案について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 (説明)

会長 ただ今の説明に対し、ご意見などございませんか。

池谷委員 運営方針の内、就労的活動支援コーディネーターについて新たに加えられていますが、どこに配置をし、どういった活動をするのか教えてください。高齢者の社会参加という点では、シルバー人材センターでも協力できる部分があるかと思います。

事務局 就労的活動支援コーディネーターは市内法人に委託しており、高齢者に多様な活動の場の選択肢を提供するという目的で配置しています。

「就労的」とは、雇用契約を結ぶのではなく、企業と連携して高齢者に合わせた活動を提供してもらい、ちょっとした謝礼をもらうという活動です。企業の人手不足への充足ではなく、企業として社会貢献の中で仕事の切り出しをするという点がポイントです。

生きがいの創出という点では共通しますが、シルバー人材センターでの仕事は、依頼に高齢者が合わせるものですが、就労的活動は個々の高齢者の状態等に合わせた活動を検討していくものという点で違いがあると考えていま

す。

このような中で、包括が介護予防の観点から、就労的活動支援コーディネーターとの連携が必要であるとのことで、連携の必要性を運営方針に記載しています。

会長

他にご意見がなければ承認いただいたものとします。

続いて、協議事項ウ「地域包括支援センターの兼業禁止事項について」、事務局から説明をお願いします。

事務局

(説明)

会長

ただ今の説明に対し、ご意見などございませんか。

委員

(異議なし)

会長

他にご意見がなければ、承認していただいたものとし、議事は終了します。進行について、皆様のご協力に感謝いたします。進行を司会にお返しします。

事務局

渡邊会長、議事の進行ありがとうございます。

最後に、「4 その他」でございますが、皆様から何かご発言がありましたら、挙手をお願いします。

一同

(なし)

それでは、以上をもちまして「令和6年度第2回地域包括支援センター運営協議会」を閉会します。

(休憩)

事務局

引き続き、令和6年度第2回焼津市地域密着型サービス運営委員会を開会いたします。

最初に皆様に事前に送付した資料の確認をさせていただきます。本日の次第が表紙でございますホッチキス止めの資料1点です。

なお、本委員会の会議の内容や意見の要旨につきましても、先ほどの包括運協同様、後日、情報公開させていただきますので、ご了承ください。

それでは、議事に入りますが、進行は渡邊委員長にお願いいたします。

委員長

ただいまから議事の進行に移りますが、議題は報告事項が3件です。最初に報告事項(1)～(3)の説明を事務局から一括でお願いします。

事務局

(説明)

委員長

質問、意見等はありませんか。

委員長

「池ちゃん家」の運営法人が変更となる理由が分かれば教えてください。

事務局

1年ほど前に、池ちゃん家・ドリームケアは、静岡の株式会社フォーユーという会社に事業譲渡され、社長も引退されました。この4月をもってフォーユーに合併されます。

委員長

他にはいかがでしょうか。特にないようでしたら、議事は終了します。

その他に全体を通して質問、意見等がありますでしょうか。

池谷委員

前回の運営委員会で介護事業者の公募についての議題がありましたが、その後の経過を教えてください。

事務局

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)を定員36人分、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を1か所、特定施設入居者生活介護を1か所(50人

分)を公募したところ、グループホームは27人分(3ユニット)が権兵衛に決定しましたが、残り1ユニットは選定されませんでした。定期巡回は応募がありませんでした。これについては、再度募集をかけて選定する予定です。現在、応募がなかった理由等を事業所にヒヤリングしています。特定施設は県に確認しましたが、応募がありませんでした。

委員長

他にご意見がなければ、議事は終了します。議事の進行について、皆様のご協力に感謝いたします。進行を司会にお返しします。

事務局

渡邊委員長、議事の進行ありがとうございました。

最後に、委員の皆様から何かご発言がありましたら、挙手をお願いします。

それでは、以上をもちまして「令和6年度第2回地域密着型サービス運営委員会」を閉会します。

なお、次年度の包括運協および本委員会については、今年度同様2回開催予定であり、7月と来年2月に開催を予定しております。開催日時につきましては、調整をし、決定しましたらお知らせします。

長時間にわたりありがとうございました。